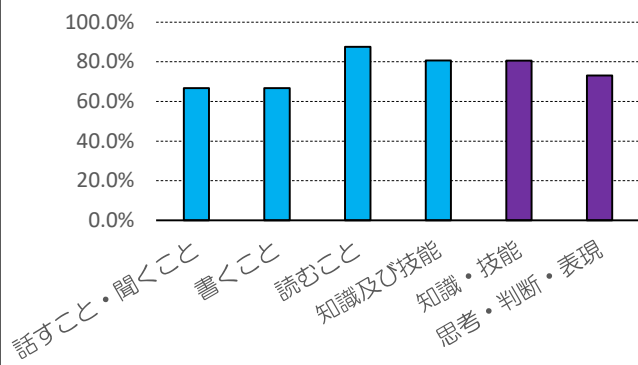


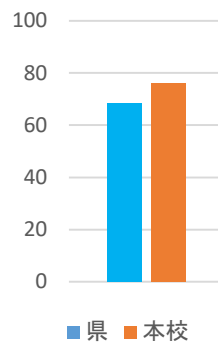
令和5年度 鹿児島学習定着度調査の結果について

鹿児島市立生見小学校

【国語】観点別の正答率

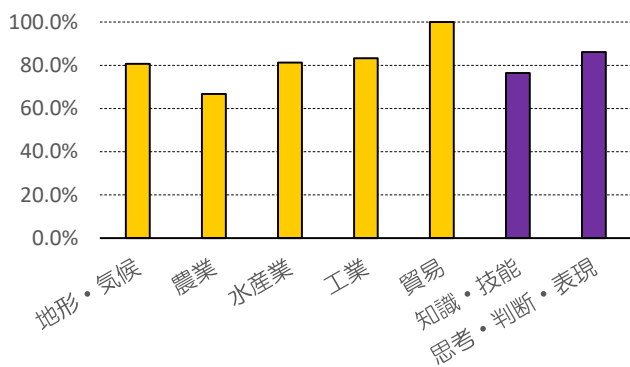


県との比較

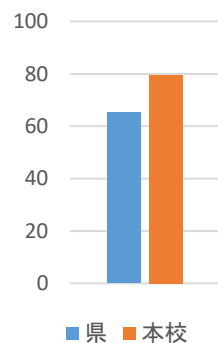


国語は、「読むこと」、「知識及び技能」で8割を超える正答率でしたが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」に課題が残りました。「書くこと」については、日頃から取り組んでいる俳句タイムや日記課題、学習活動や行事等での感想に取り組み、それを生かした交流活動をとおして、表現力の向上に努めていきます。「話すこと・聞くこと」については、俳句タイム等の様々な発表の場をとおして、語彙力・表現力を高める「話す・聞く」活動に力を入れていきます。

【社会】内容・観点別の正答率

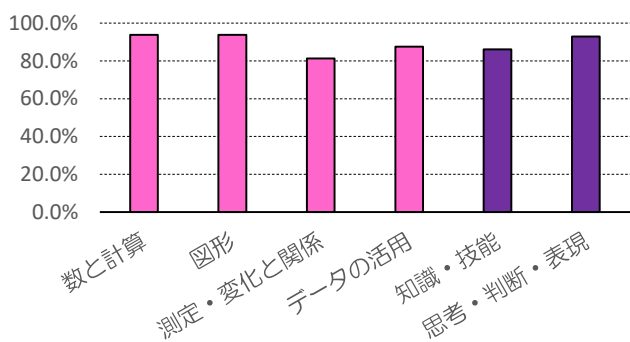


県との比較

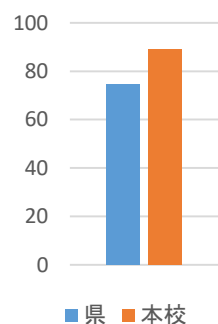


社会に関する基本的な学習内容の理解については、よく理解できているものの、「農業」に課題があります。地形や気候との関係を合わせながら理解を深め、身近なこととして捉えられるように再度内容を確認していきます。また、社会科での学習だけではなく、日常生活の中で多くの情報を取捨選択できるように、学習した内容と結び付けたり、経験したことを合わせて考えたりしながら、知識・技能の定着を図っていきます。これからは、政治・経済、社会情勢など時事問題にも関心を持ち、広い視野で見聞を深めてほしいです。

【算数】内容・観点別の正答率

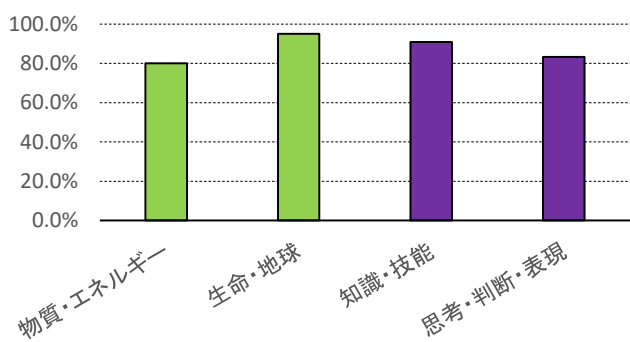


県との比較

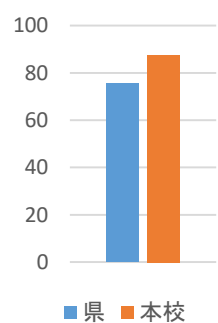


算数は、どの内容も8割を超える正答率で、「数と計算」「図形」においては、9割を超えており、よく理解できています。その中で「測定・変化と関係」においては、生活の中での活用場面等に触れながら、学習内容を結び付けられるような課題を繰り返し反復して、定着を図ります。また、これまで学習したり、新たに習得したりした知識・技能を生かして多角的・多面的な見方や考え方など、算数科における思考力・判断力・表現力をさらに伸ばしていきます。

【理科】内容・観点別の正答率



県との比較



理科は、どの内容も8割を超えていて、よく理解できています。理科の基礎的な用語や基本的な知識をしっかり押さえて理解していることにより、その知識を生かして思考力や表現力が備わってきたものと考えられます。さらに力を伸ばすために、予想→観察・実験方法の立案→観察・実験→結果の検証→まとめの過程において、科学的思考を働かせながら児童同士で協働的に追究させる活動を通して、思考力、判断力、表現力を育てていきます。